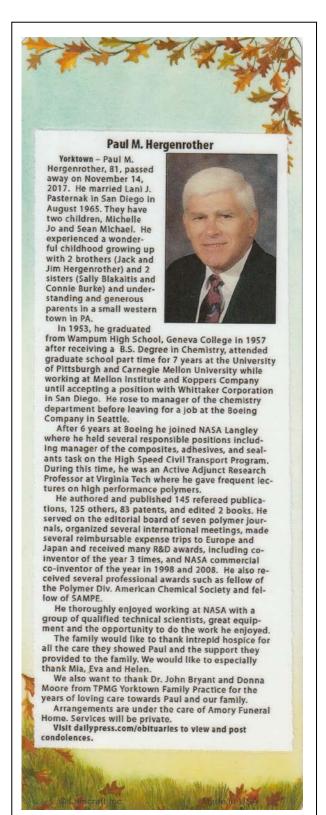
PETI-5 ポリイミド樹脂の開発者として知られる米国のポール ハーゲンローターさん(以下ポールさん)が昨年11月14日にお亡くなりになりました。享年81歳でした。ポールさんは1980年 NASA Langley R.C の一員になり 2005年に退職されるまで耐熱性芳香族高分子と複合材料開発、特にポリイミドの航空宇宙構造材料への適応研究を主導してこられました。

ポールさんは 1961 年 Carnegie-Mellon University 大学院卒業後、 Whittaker 社を経て Boeing Aerospace O Staff Member (1968-Company 1974)となり Adjunct Research Professor, Virginia Tech, 1975-1980 (Located at NASA Langley)を経て Senior Polymer Scientist として NASA Langley R. C の Advanced Materials and Processing Branch に加 わりました。この間ポールさんは、 250 を超す論文と 83 の特許を取得 し、加えて7つの高分子関連ジャーナ ルの編集に携り、2冊の著書を記した ことでも著名で、その功績により米国 化学会 ACS と先端材料技術協会 SAMPE のフェローに推挙され、3回 の NASA 特別表彰も受けられまし た。

ポールさんの代表的お仕事として は、NASA/Boeing による 1.3B\$の国 家プロジェクト・次世代亜音速機 (HSCT)主翼構造への適応を目指した 「PETI-5 ポリイミド複合材料開発」



(1992-1998)が挙げられます。このプロジェクトは、従来問題とされた耐熱硬化樹脂の脆さを分子量 5000 として架橋密度を低下させ靭性化を図り、その上、耐酸化性に優れた反応性末端基フェニルエチニル(PEPA)を導入して広いプロセスウインド-を確保したポリイミドオリゴマーである。PETI-5 は、オートクレーブ中、370°C、1 時間で耐熱、耐酸化性、高靭性に優れた成形体を与えることが特徴で、HSCT の厳しい要求特性(177°C、60000 時間)を満たす主翼材料として期待されました。残念ながらこの計画は 1998 年に中断されましたが、ポリイミド成形材料・耐熱複合材料が初めて大型航空機構造部材として取り上げられた点で画期的意義があります。

ポールさんと日本との関係では、米国の SPE/IBM 主催で 1982 年から 3 年おきに 7 回続いた International Polyimide Conference(ポリイミド会議)を通じた多くの研究・技術者との交流が挙げられ、日本ポリイミド・芳香族系高分子会議にも 2000 年、2002 年、 2004 年と出席され講演していただきました。

私がポールさんとはじめてお会いしたのも第2回(米)ポリイミド会議(1985)でした。若くして銀髪だったポールさんは、耐熱性高分子に関する招待講演をされた時、その容貌と気さくな人柄からポール叔父さんと親しみを込めて呼ばれていました。私も、この会議をきっかけに度々バージニアのNASA Langley R.Cを訪問しました。当時、彼の属する Advanced Materials and Processing Branchでは、新規合成されたポリマーは10g、100g、1kgと3段階に評価され、最終段階では炭素繊維強化複合材料を試作して評価することを知り、一見基礎研究と見える新規の樹脂合成が本格的材料化に向けた開発目標との緊密な関連にあることを知り、改めて研究課題の重要さを認識させられて大変印象的でした。このご縁で我々の見出した非対称酸無水物を用いたPI・TriA-PIの複合材料開発では、度々ラングレーを訪問してPETI-5開発に基づいた貴重な助言をいただきました。

ポールさんは、奥様がシアトルのフィッシャーマンのご家庭のご出身ということで魚料理がお射身で、来日の際にはお刺身やお寿司で燗酒を飲むのが毎日の日課のようでした。その習慣はバージニアにあっても変わらず、ハンプ

Dear Riki,

I am retiring from NASA tomorrow, April 1. At this time, I do not plan to get another job or consult after I retire. For the next several months, my wife and I will travel throughout the United States and Alaska, mostly by automobile. I have enjoyed my interaction with you and want to thank you for your kindness and help over the years. Certainly the most enjoyable travel I did for NASA was in your country. I thoroughly enjoyed the many trips to Japan; the scenery, the food, the interaction with the people, the culture, and many other things.

トンにある韓国人経営のお寿司屋さんにランチに行くのが楽しみで、ポールさんのお好きな'鉄火丼'が'Tekka-don'という呼び名で飛び交っていました。退職されるとき戴いたメールにあるように、もう一度、ポールさん思い出の地を訪ねていただけなかったことが悔やまれます。